

県 営 土 地 改 良 事 業 変 更 計 画 書

農 地 整 備 事 業 (経 営 体 育 成 型)

かみ
上 ささ 笹 地 区

兵 庫 県

目	次
第 1 章 目 的	1
第 2 章 地域及び地積	1
第 1 節 地 域	1
第 2 節 地 積	1
第 3 章 現 況	2
第 1 節 気象及び海象	2
1. 一般気象	2
2. 特殊気象	3
3. 海 象（該当なし）	3
第 2 節 土地状況	4
1. 地形・土壌及び浸食の程度	4
2. 土地分類	5
3. 土地利用の状況	6
4. 土地所有の状況	7
第 3 節 水利状況	8
1. 用水状況	8
2. 排水状況	12
3. 河川状況	16
第 4 節 道路現況	17
1. 道路概況	17

2. 主要道路一覧表	17
第 5 節 地域農業の概況	18
1. 産業別就業人口	18
2. 経営耕地広狭別農業経営体数	19
3. 主要家畜頭数	20
4. 主要作物作付状況	21
5. 農業の動向	22
第 6 節 地域環境の概況	23
1. 地区の概況	23
2. 希少種の確認状況	23
第 4 章 一般計画	24
第 1 節 事業計画の要旨	24
1. 要 旨	24
2. 事業別面積	24
第 2 節 営農計画及び土地利用計画	24
1. 営農計画の概要	24
2. 土地利用区分	24
3. 作付方式	25
4. 生産計画	26
5. 労働改善計画	27
6. 級地別土地利用区分（該当なし）	27

目	次
7. 土地配分計画（該当なし）	27
第 3 節 用水計画	28
1. 計画基準年	28
2. 計画かんがい方式	28
3. 計画用水系統	29
4. 計画用水量	30
5. 水源計画	31
第 4 節 排水計画	36
1. 計画基準雨量	36
2. 計画排水方式	36
3. 計画排水系統	36
4. 計画排水量	38
5. 排水対策	38
6. 湛水検討（該当なし）	38
第 5 節 道路計画	41
1. 道路及び索道	41
2. 路線配置図	41
第 6 節 農用地造成計画（該当なし）	41
第 7 節 洪水調節計画（該当なし）	41
第 8 節 干拓計画（該当なし）	41
第 9 節 農用地整備計画	43

目	次
1. 区画整理	43
2. 暗渠排水	44
3. 客 土	45
4. 農地保全	45
第 10 節 老朽ため池改修計画（該当なし）	45
第 5 章 主要工事計画	46
第 1 節 用水施設	46
1. 貯水池	46
2. 頭首工（該当なし）	46
3. 揚水機（該当なし）	46
4. 用水路	46
5. その他のかんがい施設（該当なし）	46
第 2 節 排水施設	46
1. 排水水門（該当なし）	46
2. 排水機（該当なし）	46
3. 排水路	46
4. その他排水施設（該当なし）	46
第 3 節 道路及び索道	46
1. 道 路	46
2. 索 道（該当なし）	46
第 4 節 農用地造成（該当なし）	52

目

第 5 節	洪水調節施設（該当なし）	52
第 6 節	干拓施設（該当なし）	52
第 7 節	農用地整備施設	53
1.	区画整理	53
2.	暗渠排水	54
3.	客 土	54
4.	除 礫（該当なし）	54
5.	農地保全（該当なし）	54
第 8 節	老朽ため池改修施設（該当なし）	54
第 6 章	附帯工事計画（該当なし）	55
第 7 章	工事の着手及び完了の予定時期	55
第 8 章	環境との調和への配慮	56
1.	基本方針	56
2.	本地域の環境の概要	56
3.	当該地区における環境配慮の方法	56
第 9 章	換地計画の概要	57
第 1 節	換地計画を作成する上での 基本的な考え方	57
第 2 節	換地区の設定	57
1.	換地区の名称、所在、面積	57
2.	換地区を設定する理由（該当なし）	57

次

第 3 節	換地計画樹立の基本方針	57
1.	従前の土地の地積の基準	57
2.	用途別予定地積	58
3.	農用地集団化の方針	59
4.	非農用地換地の方法	60
第 4 節	土地の評価及び清算の方法	61
1.	評価の方法	61
2.	清算の方法	61
第 5 節	換地計画樹立の年度計画	61
第 6 節	換地処分 of 時期に関する特則	61
第 7 節	換地事務処理体制（機構図）及び処理体制	62
第 10 章	事業費の総額及び内訳	63
第 11 章	効 用	64
第 12 章	関連する事業	64
第 13 章	現況・計画図面	64
1.	現況平面図	64
2.	計画平面図	64
3.	主要構造図	64

第1章 目 的

本地区は、市域の北西部に位置し、稲作を主体に栽培されている。近年、農業従事者の高齢化及び後継者不足に悩んでおり担い手育成のための農業構造の確立を目指す。

このような集落の取組を基礎として、田畑輪換地に向けた生産基盤の整備や農業生産法人への農地の利用集積を進め、耕畜連携を積極的に取り入れ環境創造型農業に取組他地区との差別化を図り、安定した農業経営を目指す。

第2章 地域及び地積

第1節 地 域

(第1表)

事業名	地 域
農地整備事業(経営体育成型)	たつの市新宮町上笹、下笹、下野

第2節 地 積

(令和7年6月現在) (第2表)

事業名	現況地目	田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
	市町村名							
農地整備事業 (経営体育成型)	たつの市	(2.8) 53.1	3.2	0.1		2.4	(2.8) 58.8	()内の数値は単かん受益地で 内数とする

第3章 現 況

第1節 気象及び海象

1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	上郡地域気象観測所	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備 考
観測期間	昭和60年～平成26年	6月～10月	11月～5月		
平均気温 (℃)		22.6	8.6	15.6	基準年：昭和61年
降水量	平均(mm)	738.4	537.6	1,276	
	基準年(mm)	426.0	618.0	1,044	
降水日数	平均(日)	50	57	107	
	基準年(日)	44	47	91	
根 雪 期 間		—			
無 霜 期 間		—			
最 多 風 向		西南西	最大風速 (風 向)	29.3m/s (西)	最多風向発生時期 5月 ～ 10月 最大風速発生年月日 平成24年4月3日

2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
上郡地域 気象観測所																
観測期間	数 量	年 月 日	発 生 確 率	数 量	年 月 日	発 生 確 率	数 量	年 月 日	発 生 確 率	数 量	年 月 日	発 生 確 率	数 量	年 月 日	発 生 確 率	
昭和60年 ～平成26年																
最大日 雨量(mm)	217	H16.4.29		185	H23.9.3		168	H2.9.18		151	H21.8.9		128	H4.8.19		
最大時間 雨量(mm)	50	H24.7.7		48	H26.6.24		41.5	H25.7.14		39	H21.7.9		34.5	H20.7.28		
最大4時間 雨量(mm)																
最大連続 雨量(mm)																
最大連続 干天日数(日)	38	H7.7.23 ～8.29	1/32	34	H17.9.7 ～10.10	1/18	34	H22.8.13 ～9.15	1/18	32	H2.7.16 ～8.16	1/13	32	H21.8.11 ～9.11	1/13	

3. 海 象 該当なし

第2節 土地状況

1. 地形、土壌及び浸食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目	田						畑・その他								受益地標高 (m)		備考
	傾斜区分	1/1,000 未満	1/1000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11.5以 上	計	3° 未満	3° ～ 8°	8° ～ 15°			15° ～ 20°	20° 以上	計	最高	最低	
										8° ～ 12°	8° ～ 13°	8° ～ 14°						
農地整備事業（経営体育成型）	面積(ha)	5.3	32.9	14.9			53.1	3.2							3.2	59.1	48.6	
	比率(%)	10.0	62.0	28.0			100	100							100			

[水田土壌]

項目 土壌統(区)名	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表										面積 (ha)	備 考
	土 壤 断 面							堆積様式	母材	事業名		
	色	腐植	礫層	酸化沈澱物	土性		泥炭層 黒泥層 及びグライ層			農地整備事業(経営体育成型)		
					表土	下層土						
					一層	二層	三層					
灰色土壌壤土マンガン型	2.5Y4/1～2.5Y4/4	含む～あり	まれにあり～含む	なし～まれにあり	SCL	LS	SL	—			7.0	F51
礫質土壌砂土頭層型	2.5Y4/2	含む	なし	なし	SCL	SL	SC	—			26.8	K94
礫質土壌壤土マンガン型	2.5Y4/2～2.5Y5/3	含む～なし	なし～あり	なし～点状	SCL	SL	SL	—			0.5	K95
礫質土壌壤土マンガン型	2.5Y4/2～2.5Y5/3	含む～なし	なし	なし～膜状	SCL	SCL	SCL	—			7.6	K93
黄褐色土壌砂土型	2.5Y4/3～2.5Y4/6	含む～あり	なし	なし～膜状	SL	SL	SL	—			8.3	I84
灰色土壌壤土型	2.5Y4/1～2.5Y6/6	富む～なし	なし～円礫	なし～膜状	SCL	SL	SC	—			4.5	F52
計											54.7	

2. 土地分類

本地区は、河川部の平坦地に広がる灰褐色土壌である。

3. 土地利用の状況

(令和7年6月現在)

(第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕 地						山林		採草放牧地	原野	その他	計	備 考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他の樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
農地整備事業 (経営体育成型)	たつの市	(2.8) 53.1	3.2								0.1	2.4	(2.8) 58.8	()内の数値 は単かかん受益と し、内数とする。

4. 土地所有の状況

(令和7年6月現在) (第4表-4)

事業名	所有別 区分	個人有	市有	その他 (土地改良区)	国有	計	備考
農地整備事業 (経営体育成型)	面積(ha)	23.9	2.0	0.6	0.3	26.8	
	受益者数(人)	127				127	
	筆数(筆)	275				275	
	権利関係						
	備考 (関係戸数)						

第3節 水利状況

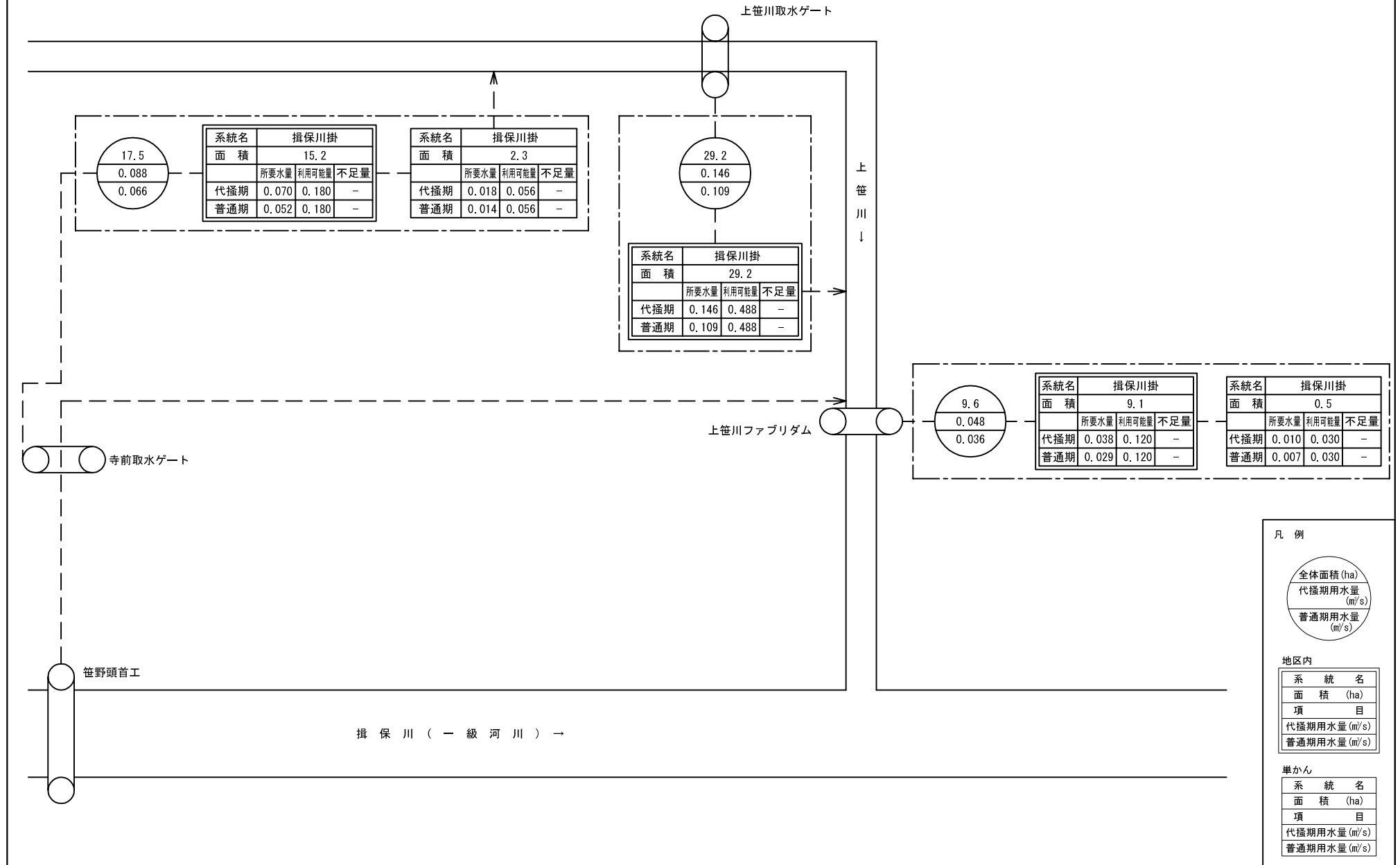
1. 用水状況

本地区の用水状況は、3カ所の井堰(寺前取水ゲート、上笹川取水ゲート、上笹川ファブリダム)から取水している。

(1) 用水系統

現況用水系統模式図参照

現況用水系統模式図



(2) 用水施設

(ア)取水方法一覧表

(第5-1表)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		許可水利権		慣行水利権等		延べ取水量	備 考
		100ha以上		100ha～30ha		30ha未満									
	(箇所)	(ha)	(箇所)	(ha)	(箇所)	(ha)	(箇所)	(ha)	(箇所)	(m³/s)	(箇所)	(m³/s)	(m³/s)		
農地整備事業 (経営体育成型)	貯水池														
	井堰					3	56.3	3	56.3	3	0.874			0.874	
	自然取水口														
	揚水機場														
	その他														
	計					3	56.3	3	56.3	3	0.874			0.874	

(イ) 改修を要する施設の一覧表

(第5表-2)

事業名	項目 施設名	施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年度 又は 更新年度	改修を必要 とする理由	備考
	施設名	施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年度 又は 更新年度	改修を必要 とする理由	備考
農地整備事業 (経営体育成型)	貯水池							
	井堰							
	自然取入口							
	揚水機							
	用水路		56.3	現場打水路	—	不明	ほ場整備工事に 伴う改修	
	その他							
	計		56.3					

(3) 用水に関する被害状況 該当なし

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況 該当なし

2. 排水状況

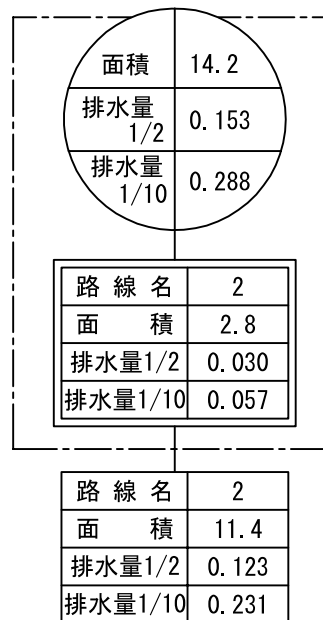
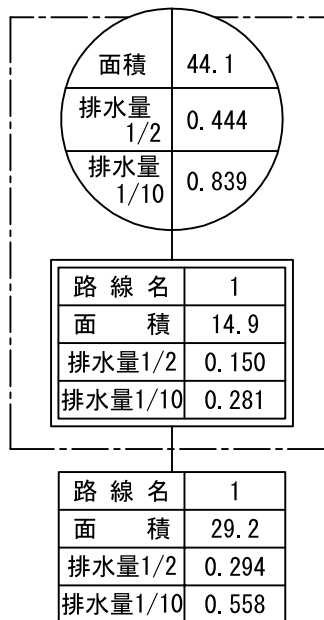
本地区の配水は、各排水路から上笹川、下野川に放流する。

(1) 排水系統

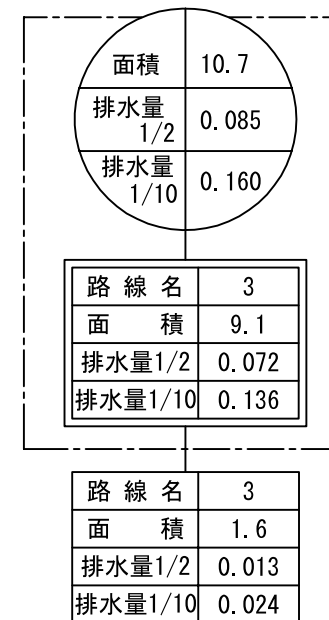
現況排水系統図参照

現況排水系統模式図

上 笹 川 （ 普 通 河 川 ） ➡



下 野 川 （ 普 通 河 川 ） ➡



凡	例
---	地 区 界
	地 区 内
	地 区 外
~~~~➡	既設水路

## (2) 排水施設

## (ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

事業名	項目 施設名		排水面積						計		排水慣行 (m ³ /s)	現況排水能力 (m ³ /s)	備考
			100ha以上		100ha～30ha		30ha未満						
	箇所	(ha)	箇所	(ha)	箇所	(ha)	箇所	(ha)					
農地整備事業 (経営体育成型)	自然	排水路			1	44.1	2	24.9	3	69.0	1.287		
		水門											
	機械	排水機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
	計				1	44.1	2	24.9	3	69.0	1.287		

(イ) 改修を要する施設の一覧表

(第5表-5)

事業名	項目		施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年度 又は 更新年度	改修を必要 とする理由	備考
	施設名								
農地整備事業 (経営体育成型)	自然	排水路	—	26.8	二次製品水路 現場打水路	—	不明	ほ場整備工事 に伴う改修	
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
	計			26.8					

(3) 排水に関する被害状況 該当なし

### 3. 河川状況

本地区を流下する河川は、揖保川水系の2路線、上笹川(普通河川)、下野川(普通河川)であり、河川断面は全て改修済みである。

#### (1) 河川状況

(第5表-7)

項目 河川名	流路状況	勾配	断面	計画洪水量 ( $\text{m}^3/\text{s}$ )	既往最大洪水量 ( $\text{m}^3/\text{s}$ )	備考
上笹川	ブロック積護岸	1/300				
下野川	〃	1/500				

#### (2) 洪水に関する被害状況

該当なし

#### 第4節 道路現況

##### 1. 道路概況

本地区の道路状況は、地区の中央部を県道宇原新宮線が南北に縦断している。

##### 2. 主要道路一覧表

(第6表)

NO.	路線名	管理区分別	延長 (km)	幅 員(m)		構造	改修の要否	備考
				全幅	有効			
1	県道宇原新宮線	兵庫県	1.8	5.2	4.2	アスファルト舗装	否	
2	下笹上笹線	たつの市	0.1	4.0	3.0	〃	否	
3	上笹8号線	〃	0.1	3.0	2.5	〃	一部拡幅	
4	上笹9号線	〃	0.1	4.0	3.0	〃	否	
5	上笹10号線	〃	0.1	3.0	2.5	〃	一部拡幅	
6	上笹13号線	〃	0.1	3.0	2.5	〃	一部拡幅	
7	農道	土地改良区	3.3	3.0	2.5	舗装なし	改修	

第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

(第7表-1)

項目 市町村名	総数 (人)	農業 (人)	林業 (人)	漁業 (人)	鉱業採石業 砂利採取業 (人)	建設業 (人)	製造業 (人)	電気ガス 熱供給 水道業 (人)	運輸 通信業 (人)	卸売業 小売業 (人)	金融業 保険業 (人)	不動産業 物品賃貸業 (人)	サービス業 (人)	公務 (人)	その他 (人)	備考
たつの市	34,840	893	16	168	5	2,718	9,438	181	1,939	4,616	499	339	11,861	936	1,231	
比率(%)	100	3	-	-	-	8	27	1	6	13	1	1	34	3	3	

※出典：令和2年度国勢調査

## 2. 経営耕地広狭別農業経営体数

(第7表-2)

区分 市町村名	農業 経営 体数 (戸)	経 営 耕 地 広 狭 別 農 業 経 営 体 数 (戸)											1経営体当たり平均農用地面積(ha)						備考
		0.3 ha 未満	0.3 ～ 0.5	0.5 ～ 1.0	1.0 ～ 1.5	1.5 ～ 2.0	2.0 ～ 3.0	3.0 ～ 5.0	5.0 ～ 10.0	10.0 ～ 20.0	20.0 ha 以上	自 給 的 農 家	田	畑	樹園 地	小計	草地	計	
たつの市	1,137	16	362	448	141	47	42	28	17	15	13	8	1.4	0.1	0.0	1.5	-	1.5	
比率(%)	100	1	32	39	12	4	4	2	1	1	1	1							

※出典：令和2年度農林業センサス

## 3. 主要家畜頭数

(第7表-3)

項目 市町村名	主 要 家 畜										備考
	乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏		ブロイラー		
	数量(頭)	経営体数 (経営体)	数量(頭)	経営体数 (経営体)	数量(頭)	経営体数 (経営体)	数量(頭)	経営体数 (経営体)	数量(頭)	経営体数 (経営体)	
たつの市	X	2	1,038	3	—	—	1,373	3	—	—	
100経営体 当たり数量 (台、頭)	X		91.3		—		120.8		—		
所有経営体 割合(%)	0.2		0.3		—		0.3		—		

※出典：令和2年度農林業センサス

## 4. 主要作物作付状況

(第7表-4)

市町村名			たつの市		作付率(%)	備考
経営耕地面積(ha)			1,747			
総本地面積(ha)						
区分 作物名			作付面積 (ha)	単位面積当たり収量 (kg/10a)		
田	表作	水稻	1,005		57.5	
	裏作	野菜	437		25.0	
	小計		1,442		82.5	
畑	春夏作	野菜	46		2.6	
	秋冬作	野菜	-		-	
	小計		46		2.6	
樹園地	果樹		1		0.1	
	その他		6		0.3	
	小計		7		0.4	
計			1,495		85.5	
市町村別延べ作付率(%)			85.5			

※令和2年度農林業センサス

## 5. 農業の動向

(第7表-5)

項目 区分	農業経営体			土 地			主要作物			主要家畜			その他	地域指定	備考
		B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A			
変化の状況（C年を100とする指数）	個人経営体	81	61	経営耕地	88	114	水稻	104	111	乳用牛	118	X		農業振興地域 H17.12.9	A:R 2年(2020年) B:H27年(2015年) C:H22年(2010年)
	個人経営体(法人)数	87	80	田	88	115	小麦	101	102	肉用牛	X	100			
	個人経営体(非法人)数	65	42	畑	88	108	大豆	233	335	豚	—	—			
										採卵鶏	X	91			
										ブロイラー	—	—			
変化の理由	個人経営体の減少は他産業への流出及び高齢化による。			農業人口は減少傾向にあるが、効率的な農業経営等により経営耕地は増加傾向にある。			経営耕地の増加に伴い、作付面積も増加している。			家畜頭数に大きな変化は見られない。					

## 第6節 地域環境の概況

### 1. 地区の概況

本地区は、たつの市を縦断する一級河川揖保川を中心に、豊かな自然に恵まれ、国道2号線と山陽自動車道、JR山陽本線が横断する交通の要衝となっています。近年はこの住みよい環境から田園住宅都市として宅地開発も進んでいます。

気候は温暖で雨量も少なく、瀬戸内式気候である。地形としては海拔500m以下の山地がほとんどであり、南北は瀬戸内海に向かって穏やかに傾斜しながら播磨平野の一部をなしている。

耕地はほとんど平坦であり、地質は平坦部が沖積層、傾斜部は第三期層が広く分布している。土壌は地味肥沃であり、平坦部は灰色及び灰褐色土壌、河川沿線は礫層土壌が多く、山沿いの谷部では一部にグライ土壌がみられる。

水利条件としては、揖保川が市域の中央部を南流している。東部は揖保川に平行して南流する林田川が地域内の南部で合流している。農業用水はこれらの河川の頭首工から取水している。

### 2. 希少種の確認状況

#### ① 動 物

種名	確認状況	レッドリスト指定状況
マルタニシ	水田内で5個体確認	環境省：絶滅危惧Ⅱ類(VU) 兵庫県：Cランク
タガメ	確認実績有り	環境省：絶滅危惧Ⅱ類(VU) 兵庫県：Bランク
ドジョウ	水路内で20個体確認	兵庫県：Bランク
トノサマガエル	ほ場周辺で50個体以上確認	環境省：準絶滅危惧(NT)
ツチガエル	ほ場周辺で5個体以上確認	兵庫県：Cランク

#### ② 植 物

種名	確認状況	レッドリスト指定状況
ミズニラ	主に水田内で100株以上確認	環境省：準絶滅危惧(NT) 兵庫県：Cランク
シャジクモ	水田内と水路内で100株以上確認	環境省：絶滅危惧Ⅱ類(VU) 兵庫県：Cランク

## 第4章 一般計画

### 第1節 事業計画の要旨

#### 1. 要 旨

本事業は、計画的な基盤整備と併せ、耕作放棄地を含めた土地利用を計画的に再編し、担い手への農地の利用集積を進めるものである。

#### 2. 事業別面積

(第8表)

事業名 土地 利用区分	農地整備事業(経営体育成型)					
	水田	普通畑	牧草地	果樹園	その他	小計
事業目的	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)
区画整理	(2.8) 51.4	3.3			4.1	(2.8) 58.8

※( )内の数値は単かん面積とし、内数とする

### 第2節 営農計画及び土地利用計画

#### 1. 営農計画の概要

本地区の営農計画は、区画整理により、土地利用の高度化と生産性の向上を図り、併せて農地の利用を集積し個人担い手及び農業生産法人に推進することにより、持続的な営農、省力化及び低コスト化を推進し、水稻作物を主体とした生産団地の育成と中核的担い手農家の育成・強化を図る。

#### 2. 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地 利用 区分	水田	普通畑	牧草地	果樹園	茶園	その他	小計	原野	山林	その他	計	備考
	区分	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
農地整備事業 (経営体育成型)	現況	(2.8) 53.1	3.2					(2.8) 56.3	0.1		2.4	(2.8) 58.8	( )内の数値は単かん 面積とし、内数とする
	計画	(2.8) 51.4	3.3					(2.8) 54.7			4.1	(2.8) 58.8	

## 3. 作付方式

(第9表-2)

作業名	項目	経営 類型	土地利 用区分	1年目												2年目												3年目												備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
農地整備事業  (経営体育成型)	現況	水稻 野菜	水田							水田																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																</

## 4. 生産計画

(第9表－3)

事業名	項目		作物名	作付面積(ha)			作付率(%)		単位面積当たり収量(kg/10a)			生産量(t)			同左生産量増減の内訳(t)		備考
	土地	利用 区分		現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積 増加	単位面積 当たり収 量増加	
農地整備事業（経営体育成型）	水田	表作	水稻	10.8	10.2	△ 0.6	47.8	48.1	447	456	8.9	—	0.9	0.9		0.9	
									447	447	-	48.3	45.6	△ 2.7	△ 2.7		
									447	469	22	—	0.8	0.8		0.8	
			大豆	0.3	8.9	8.6	1.3	42.0	160	160	-	0.5	14.2	13.7	13.7		
			バジル	0.1	2.1	2.0	0.4	9.9	731	731	-	0.7	15.4	14.7	14.7		
			調整水田	8.0	-	△ 8.0	35.4	-									
			地力増進	3.4	-	△ 3.4	15.0	-									
			裏作	小麦	0.1	3.0	2.9	0.4	14.2	317	317	-	0.3	9.5	9.2	9.2	
				じゃがいも	0.1	3.0	2.9	0.4	14.2	720	720	-	0.7	21.6	20.9	20.9	
		玉ねぎ		0.1	3.0	2.9	0.4	14.2	2,250	2,250	-	2.3	67.5	65.2	65.2		
		人参		-	1.0	1.0	-	4.7	4,412	4,412	-	0.0	44.1	44.1	44.1		
		れんこん		0.1	0.1	0.0	0.4	0.5	674	674	-	0.7	0.7	0.0	0.0		
	普通畑	春夏作	大豆	1.1	0.4	△ 0.7	91.7	28.6	160	160	-	1.8	0.6	△ 1.2	△ 1.2		
			バジル	0.1	1.0	0.9	8.3	71.4	731	731	-	0.7	7.3	6.6	6.6		
		秋冬作															
	計				24.2	32.7	8.5	201.5	247.8								
合計				24.2	32.7	8.5											

## 5. 労働改善計画

(第9表-4)

事業名	項目 土地利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量(hr/10a)				備考
				区分	現況	計画	増減	
農地整備事業 (経営体育成型)	水田	水稻	10.2	人力	40.4	12.6	△ 27.8	未整備湿田→100a区画乾田
				機械力	14.0	3.3	△ 10.7	
		大豆	8.9	人力	31.9	9.0	△ 22.9	
				機械力	6.5	5.0	△ 1.5	
		小麦	3.0	人力	25.8	3.4	△ 22.4	
				機械力	7.1	1.6	△ 5.5	
		じゃがいも	3.0	人力	94.8	65.3	△ 29.5	
				機械力	6.4	4.0	△ 2.4	
		玉ねぎ	3.0	人力	143.2	97.3	△ 45.9	
				機械力	7.0	6.6	△ 0.4	
		人参	1.0	人力	313.0	260.6	△ 52.4	
				機械力	7.0	2.4	△ 4.6	
		れんこん	0.1	人力	178.3	164.9	△ 13.4	
				機械力	110.8	103.9	△ 6.9	
	普通畑	大豆	0.4	人力	31.9	9.0	△ 22.9	
機械力				6.5	5.0	△ 1.5		
小計		29.6						
合計		29.6						

6. 級地別土地利用区分 該当なし

7. 土地配分計画 該当なし

第3節 用水計画

1. 計画基準年

平成17年

(かんがい期間総雨量 363.0mm、かんがい期間有効雨量 260.0mm、かんがい期間連続干天日数 31.0日)

2. 計画かんがい方式

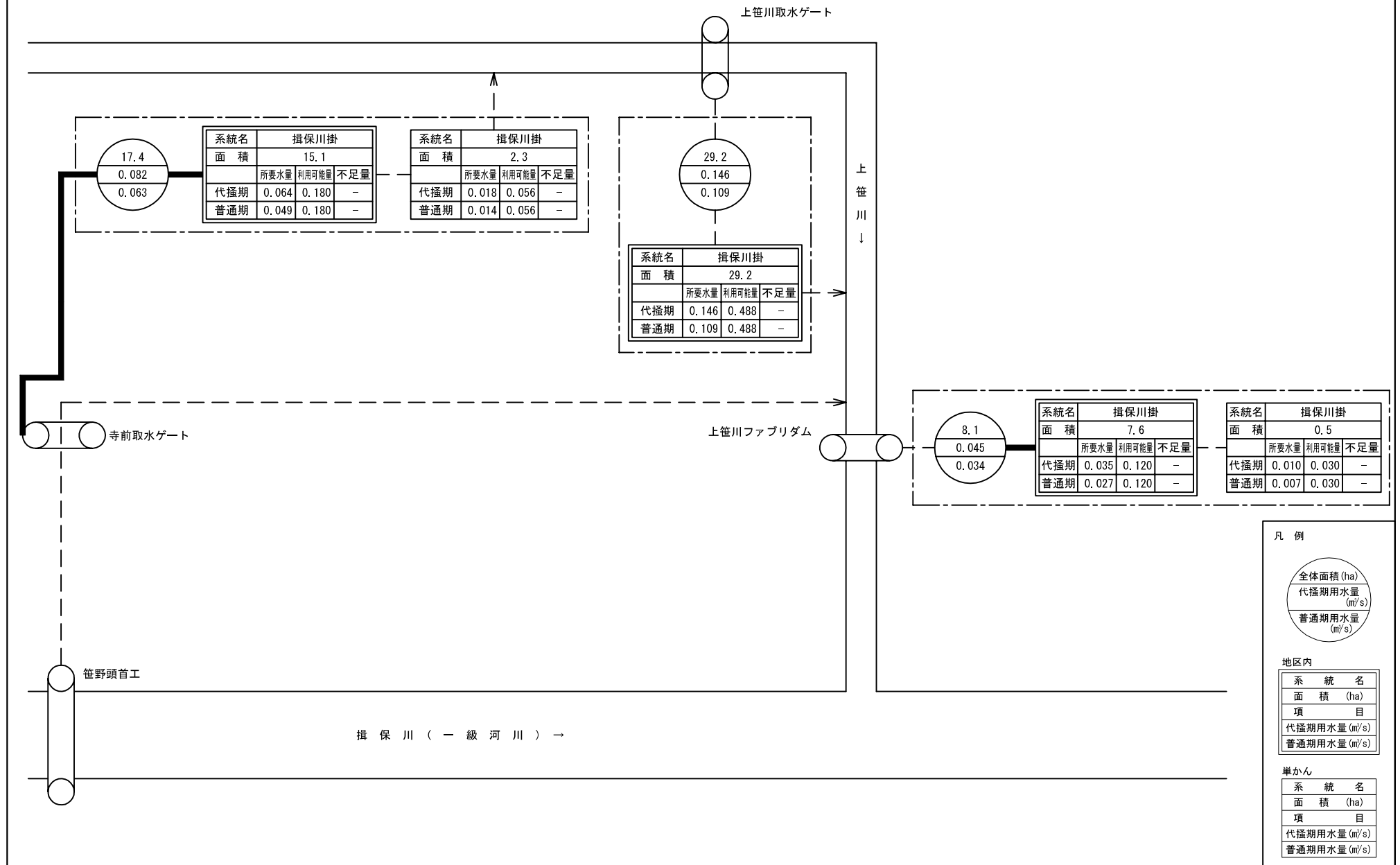
区 画 整 理

水田	水稻	-----	たん水かんがい	かんがい期間：6月20日～10月10日(105日)	(代掻期間：6月20日～6月27日(8日))
	畑作物	-----	うね間かんがい	かんがい期間：6月20日～10月10日(105日)	
普通畑			うね間かんがい	かんがい期間：通年	

3. 計画用水系統

別紙計画用水系統模式図参照

# 計画用水系統模式図



4. 計画用水量

(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

系統名	項目 種別	受益面積(ha)	水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい			消費 水量 (m³/s)	損失率 (%)	粗用水量		備考
		事業名	普通期	代掻き期	面積 (ha)	1日当 たり計画 平均かん 水深 (mm/日)	平均間 断日数 (日)	面積 (ha)	1日当 たり計画 平均かん 水深 (mm/日)	平均間 断日数 (日)	面積 (ha)			平均 (m³/s)	最大 (m³/s)	
		農地整備事業 (経営体育成型)	計画平 均単位 用水量 (mm/日)	計画代 掻き単 位用水 量 (mm/日)												
揖保川	農業 用水	54.7	(27.6) 25.0	150	51.4	5.5	4	0.0	5.5	4	3.3	(0.089) 0.014	10	0.017	0.054	
計		54.7			51.4			0			3.3			0.017	0.054	

(2) 営農雑用水 該当なし

## 5. 水源計画

### (1) 水利用計画

有効雨量	水田(水 稲) : 5mm～80mm/ 日の80%
	(畑利用) : 5mm/ 日以上の80%で上限はTRAMまで
	普通畑 : 5mm/ 日以上の80%で上限はTRAMまで
日消費水量	普通畑 : 5.5mm
TRAM	水田(畑利用) : 25mm
	普通畑 : 25mm
間断日数	水田(畑利用) : 4日
	普通畑 : 4日
かんがい効率	水田(水 稲) : 90% たん水かんがい
	(畑利用) : 70% うね間かんがい
	普通畑 : 70% うね間かんがい

(第10表-2)

項目 区分		消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現況利用可能水量			不足水量		水源依存量		水源工種	備考
		a	b	c=a-b	d=c/(1-α)	水源名	取水地点 利用可能量	ほ場利用 可能量	純不足 水 量	全不足 水 量	水源名	水量		損失率: α
		(千m ³ )	(千m ³ )	(千m ³ )	(千m ³ )		e (千m ³ )	f (千m ³ )	g=c-f (千m ³ )	h=d-e (千m ³ )		(千m ³ )		
(事業名)	農地整備事業(経営体 育成型)	57	1	56	62	河川	76	76					頭首工	10

## (2) 用水対策

(ア) 貯水池 該当なし

(イ) 井堰及び自然取入口

(第10表-4)

項目 取水施設名	河川名	流域面積 (km ² )	かんがい面積(ha)	取水量(m ³ /s)		渇水量 (m ³ /s)	備考
			事 業 名	最大	平均		
			農地整備事業 (経営体育成型)				
笹野頭首工	揖保川	528	54.7	0.874			
寺前取水ゲート	〃		17.4	0.082			
上笹川取水ゲート	上笹川		29.2	0.146			
上笹川 ファブリダム	〃		8.1	0.045			
計			109.4				

(ウ) 揚水機 該当なし

(エ) 用水路 別紙資料参照

(オ) その他の水源施設 該当なし

(3) 水温水質 該当なし

## (エ) 用水路

(第10表-6)

項 目   名 称	かんがい面積(ha)	最大通水量 ( $\text{m}^3/\text{s}$ )	延 長 (m)	構 造	備 考
	事 業 名				
	農地整備事業 (経営体育成型)				
第1号支線用水路	18.8	0.120	66.5	H500×B600	上笹地区
第2号支線用水路	0.3	0.006	45.8	UF-250	〃
第3号支線用水路	18.3	0.119	165.3	H500×B600	〃
第4号支線用水路	34.4	0.218	108.0	VUφ400	〃
第5号支線用水路	24.0	0.198	90.3	VUφ200	〃
第6号支線用水路	0.6	0.011	43.8	VUφ200	〃
第7号支線用水路	10.4	0.089	129.3	VUφ400	〃
第8号支線用水路	8.3	0.083	147.4	VUφ400	〃
第9号支線用水路	6.7	0.075	106.5	VUφ300	〃
第10号支線用水路	4.9	0.071	111.4	VUφ250	〃
第11号支線用水路	2.9	0.053	105.5	VUφ250	〃
第11-1号支線用水路	0.0	0.021	82.7	VUφ200	〃
第13号支線用水路	5.4	0.073	108.2	UF-450	〃
第15号支線用水路	17.7	0.112	111.6	UF-500	〃
第1-2号支線用排水兼用水路	34.7	0.223	227.7	表面被覆工	〃
第3号支線用排水兼用水路	23.5	0.187	253.1	H500×B700	〃
小計	210.9		1,903.1		

## (エ) 用水路

(第10表-6)

項 目   名 称	かんがい面積(ha)	最大通水量 ( $\text{m}^3/\text{s}$ )	延 長 (m)	構 造	備 考
	事 業 名				
	農地整備事業 (経営体育成型)				
第3号支線用水路	1.2	0.025	187.4	UF-300	下野地区
第4号支線用水路	0.6	0.012	144.0	UF-250	〃
第5号支線用水路	0.4	0.009	248.4	UF-250	〃
第6号支線用水路	0.4	0.007	156.2	UF-250	〃
第7号支線用水路	1.3	0.027	206.7	UF-300	〃
第8号支線用水路	2.3	0.046	97.7	UF-250	〃
第9号支線用水路	1.2	0.025	177.5	UF-400	〃
第7-1号支線用水路	0.9	0.019	87.0	UF-250	〃
第1号小水路	0.0	0.000	42.4	UF-250	〃
小計	8.3		1,347.3		
合計	219.2		3,250.4		

### (工) 用水路

(第10表-6)

項目   名称	かんがい面積(ha)	最大通水量 (m ³ /s)	延長 (m)	構造	備考
	事業名				
	農地整備事業 (経営体育成型)				
			【各構造別延長】		
			216.8	VU φ 200	
			216.9	VU φ 250	
			106.5	VU φ 300	
			384.7	VU φ 400	
			821.5	UF-250	
			394.1	UF-300	
			177.5	UF-400	
			108.2	UF-450	
			111.6	UF-500	
			231.8	H500 × B600	
			253.1	H500 × B700	
			227.7	表面被覆工	
合計			3,250.4		

#### 第4節 排水計画

##### 1. 計画基準雨量

- ① 159mm(日雨量 1/10年確率)
- ② 35mm(1時間雨量 1/10年確率)
- ③ 17mm(4時間雨量 1/10年確率)

##### 2. 計画排水方式

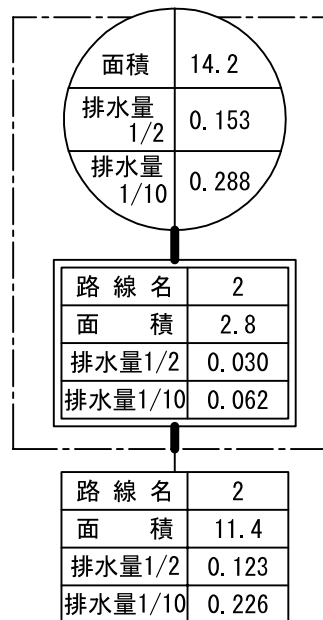
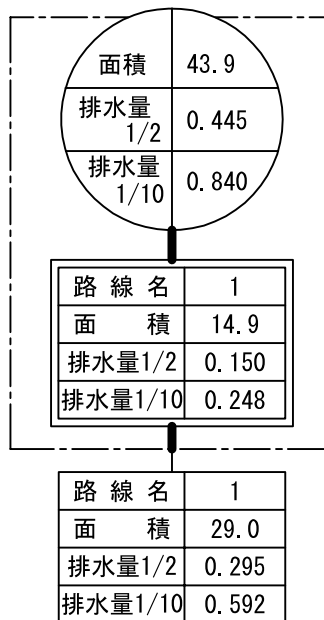
地区内の排水を計画排水路にて河川に流す。

##### 3. 計画排水系統

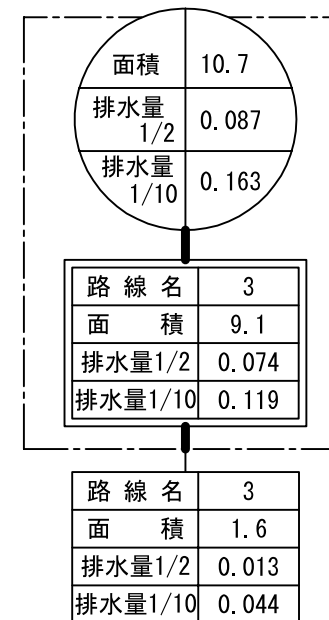
別紙計画排水系統模式図参照

## 計画排水系統模式図

上 笹 川 （ 普 通 河 川 ）      ➡



下 野 川 （ 普 通 河 川 ）      ➡



凡	例
---	地区界
<span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span>	地区内
<span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span>	地区外
~~~~➡	既設水路

4. 計画排水量

(第11表-1)

項目 排水 系統名	受益面積(ha)	流域面積 (km ²)		基準 雨量 (mm)	降雨による 直接単位流出量 (m ³ /s/km ²)		基底流出量 (m ³ /s/km ²)		全 排 水 量 (m ³ /s)			単位排水量 (m ³ /s/km ²)		備考
	事 業 名										山地	平地		
	農地整備事業 (経営体育成型)	山地	平地		山地	平地	山地	平地	自然排水	機械排水		山地	平地	
1	14.9	0.31	0.13	159	2.13	1.65			0.592	0.248		1.92	1.60	
2	2.8	0.11	0.03	159	2.13	1.65			0.226	0.062		1.92	1.60	
3	9.1	0.03	0.08	159	2.13	1.65			0.044	0.119		1.92	1.60	
計	26.8	0.45	0.24						0.862	0.429				

5. 排水対策

(1) 排水水門 該当なし

(2) 排水機 該当なし

(3) 排水路 別紙参照

(4) その他 該当なし

6. 湛水検討 該当なし

(3) 排水路

(第11表-4)

項目 名称	受益面積(ha)	計画排水量 (m³/s)	延 長 (m)	構造	排水本川			備考
	事業名				名称	計画 洪水量 (m³/s)	計画 洪水位 (m)	
	農地整備事業 (経営体育成型)							
第1号支線排水路	0.5	0.199	245.6	BF-400	上笹川			上笹地区
第2号支線排水路	0.3	0.010	63.9	BF-250	〃			〃
第3号支線排水路	1.0	0.220	99.1	BF-500	〃			〃
第3-1号支線排水路	0.0	0.000	24.7	BF-200	〃			〃
第3-2号支線排水路	0.0	0.000	14.1	BF-200	〃			〃
第4-1号支線排水路	1.3	0.235	56.0	BF-200	〃			〃
第5号支線排水路	1.6	0.241	80.7	BF-500	〃			〃
第5-1号支線排水路	0.0	0.000	21.2	BF-200	〃			〃
第6号支線排水路	2.4	0.260	115.6	BF-500	〃			〃
第6-1号支線排水路	0.0	0.000	16.8	BF-200	〃			〃
第7号支線排水路	0.6	0.020	91.1	BF-250	〃			〃
第8号支線排水路	0.2	0.337	54.6	3AP500*800	〃			〃
第10号支線排水路	0.6	0.013	148.8	VU-200	〃			〃
第11号支線排水路	2.1	0.038	120.1	VU-200	〃			〃
第12号支線排水路	4.2	0.082	147.1	VU-350	〃			〃
第13号支線排水路	5.9	0.114	105.5	VU-350	〃			〃
第14号支線排水路	7.9	0.154	111.4	VU-400	〃			〃
第15号支線排水路	9.6	0.187	105.0	VU-450	〃			〃
第16号支線排水路	9.6	0.187	98.0	BF-500	〃			〃
第17号支線排水路	0.0	0.093	238.2	3AP500*600	〃			〃
第18号支線排水路	0.9	0.231	220.5	BF-450	〃			〃
第19号支線排水路	0.3	0.273	34.3	BF-450	〃			〃
第4号支線用排兼用水路	0.0	0.125	247.9	BF-500	〃			〃
第5号支線用排兼用水路	0.0	0.037	126.9	H500*B600	〃			〃
第20号支線排水路	1.2	0.022	134.3	BF-300	〃			〃
第1号宅地排水路	0.0	0.000	30.9	BF-250	〃			〃
承水路	0.0	0.000	57.5	BF-200	〃			〃
小計	50.2		2,809.8					

(3) 排水路

(第11表-4)

項目 名称	受益面積(ha)	計画排水量 (m³/s)	延 長 (m)	構造	排水本川			備考
	事業名				名称	計画 洪水量 (m³/s)	計画 洪水位 (m)	
	農地整備事業 (経営体育成型)							
第1号支線排水路	2.1	0.043	106.5	BF-250	下野川			下野地区
第3号支線排水路	1.8	0.040	130.2	BF-250	〃			〃
第4号支線排水路	0.6	0.029	182.6	BF-250	〃			〃
第4-1号支線排水路	0.9	0.040	138.7	BF-250	〃			〃
第7号支線排水路	3.4	0.077	71.2	BF-300	〃			〃
地区外排水路	0.0	0.000	14.8	BF-200	〃			〃
第1号小排水路	0.0	0.000	40.7	BF-200	〃			〃
小計	8.8		684.7					
			【各構造別延長】					
			268.9	VU-200				
			252.6	VU-350				
			111.4	VU-400				
			105.0	VU-450				
			245.8	BF-200				
			743.9	BF-250				
			205.5	BF-300				
			245.6	BF-400				
			254.8	BF-450				
			641.3	BF-500				
			238.2	3AP500*600				
			54.6	3AP500*800				
			126.9	H500*B600				
合計	59.0		3,494.5					

第5節 道路計画

1. 道路及び索道

(1) 道 路 (第12表-1)

番号	項目 路線名	幅(有効) × 延長 (m) (m)		構 造	既設道路との関係	備考
1	支線道路	5.0(4.0)	× 895.1	敷砂利舗装		
2	〃	4.0(3.0)	× 996.1	〃		
3	〃	2.5(2.0)	× 676.1	〃	拡幅道路	
4	耕作道路	3.0(2.5)	× 145.0	〃		
計			2,712.3			

(2) 索 道 該当なし

2. 路線配置図 別紙参照

第6節 農用地造成計画 該当なし

第7節 洪水調整計画 該当なし

第8節 干拓計画 該当なし

第9節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状 (第16表-1)

長辺(m) × 短辺(m)	区画面積(ha)	全体面積(ha)	割合(%)	田面差(m)	備考
100 × 100	1.0	5.9	27.6	0.1	100a 区画率 27.6% 畑の1.3haは除外する。
100 × 30	0.3	12.7	59.3	0.5	
—	0.3ha未満	2.8	13.1		
計		21.4	100.0		

(2) 表土扱い (第16表-2)

面 積(ha)	表土扱い要否の理由	扱い深(cm)	土 量(m³)	備 考
22.7	作土層の保護のため	15	34,050	

(3) 末端道水路配置図 該当なし

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第16表-3-1)

区分	項目	面積 (ha)	土壌統(区)名	基準雨量 (mm/日)	単位排水量 (ℓ/s/ha)	計画後の 地下排水 (m)	集水渠出口以 下の排水方式	備考
	事業名							
	農地整備事業 (経営体育成型)							
本暗渠		14.8	礫質土壌 砂土頭層型	50	5.787	0.5	自然排水	K94
〃		0.5	礫質土壌 壤土マンガン型	50	5.787	0.5	〃	K95
計		15.3						

(2) 心土破碎 該当なし

3. 客 土

(第16表-4)

区分	項目	面積(ha)	土壌統(区)名	減水深 (mm/日)		作土の厚さ (cm)		10a当たり 客土量 (m ³)	土壌の性質		備考
	事業名										
	農地整備事業 (経営体育成型)			現況 平均	計画 平均	現況 平均	計画 平均		受益地 (%)	採土地 (客土材料)	
	浅耕土対策	1.4	灰色土壌壤土 マンガン型	17.2	17.2	15	25	137			F51
	〃	4.2	礫質土壌壤土 マンガン型	25.1	25.1	15	25	73			K93
	〃	3.4	礫質土壌 砂土頭層型	27.6	27.6	15	25	73			K94
	計	9.0									

4. 農地保全 該当なし

第10節 老朽ため池改修計画

該当なし

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

- | | |
|--------------|------|
| 1. 貯水池 | 該当なし |
| 2. 頭首工 | 該当なし |
| 3. 揚水機 | 該当なし |
| 4. 用水路 | 別紙参照 |
| 5. その他かんがい施設 | 該当なし |

第2節 排水施設

- | | |
|------------|------|
| 1. 排水水門 | 該当なし |
| 2. 排水機 | 該当なし |
| 3. 排水路 | 別紙参照 |
| 4. その他排水施設 | 該当なし |

第3節 道路及び索道

- | | |
|-------------|------|
| 1. 道 路 | |
| (1) 道路の総括表 | 別紙参照 |
| (2) 道路主要構造物 | 該当なし |
| 2. 索 道 | 該当なし |

4. 用水路

(第17表-4)

水路名	項目	かんがい面積(ha)	通水量 (m³/s)	延 長 (m)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事 業 名			開きよ	トンネル その他	計				
	農地整備事業 (経営体育成型)									
第1号支線用水路		18.8	0.120	66.5		66.5	H500×B600	1/800	二次製品水路	
第2号支線用水路		0.3	0.006	45.8		45.8	UF-250	1/800	二次製品水路	
第3号支線用水路		18.3	0.119	165.3		165.3	H500×B600	1/800	二次製品水路	
第4号支線用水路		34.4	0.218		108.0	108.0	VUφ400		パイプライン	
第5号支線用水路		24.0	0.198		90.3	90.3	VUφ200		パイプライン	
第6号支線用水路		0.6	0.011		43.8	43.8	VUφ200		パイプライン	
第7号支線用水路		10.4	0.089		129.3	129.3	VUφ400		パイプライン	
第8号支線用水路		8.3	0.083		147.4	147.4	VUφ400		パイプライン	
第9号支線用水路		6.7	0.075		106.5	106.5	VUφ300		パイプライン	
第10号支線用水路		4.9	0.071		111.4	111.4	VUφ250		パイプライン	
第11号支線用水路		2.9	0.053		105.5	105.5	VUφ250		パイプライン	
第11-1号支線用水路		0.0	0.021		82.7	82.7	VUφ200		パイプライン	
第13号支線用水路		5.4	0.073	108.2		108.2	UF-450	1/600	二次製品水路	
第15号支線用水路		17.7	0.112	111.6		111.6	UF-500	1/850	二次製品水路	
第1-2号支線用排水兼用水路		34.7	0.223	227.7		227.7	表面被覆工	1/500	補修水路	
第3号支線用排水兼用水路		23.5	0.187	253.1		253.1	H500×B700	1/240	現場打水路	
小計		210.9		978.2	924.9	1,903.1				

4. 用水路

(第17表-4)

水路名	項目	かんがい面積(ha)	通水量 (m³/s)	延 長 (m)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事 業 名			開きよ	トンネル その他	計				
	農地整備事業 (経営体育成型)									
第3号支線用水路		1.2	0.025	187.4		187.4	UF-300	1/850	二次製品水路	
第4号支線用水路		0.6	0.012	144.0		144.0	UF-250	1/1300	二次製品水路	
第5号支線用水路		0.4	0.009	248.4		248.4	UF-250	1/800	二次製品水路	
第6号支線用水路		0.4	0.007	156.2		156.2	UF-250	1/800	二次製品水路	
第7号支線用水路		1.3	0.027	206.7		206.7	UF-300	1/500	二次製品水路	
第8号支線用水路		2.3	0.046	97.7		97.7	UF-250	1/1100	二次製品水路	
第9号支線用水路		1.2	0.025	177.5		177.5	UF-400	1/380	二次製品水路	
第7-1号支線用水路		0.9	0.019	87.0		87.0	UF-250	1/650	二次製品水路	
第1号小水路		0.0	0.000	42.4		42.4	UF-250	1/500	二次製品水路	
小計		8.3		1,347.3	0.0	1,347.3				
合計		219.2		2,325.5	924.9	3,250.4				

3. 排水路

(第18表-3)

項目 水路名	受益面積(ha)	排水量 (m³/s)	延 長 (m)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事 業 名		開きよ	トンネル その他	計				
	農地整備事業 (経営体育成型)								
第1号支線排水路	0.5	0.199	245.6		245.6	BF-400	1/460	二次製品水路	
第2号支線排水路	0.3	0.010	63.9		63.9	BF-250	1/500	二次製品水路	
第3号支線排水路	1.0	0.220	99.1		99.1	BF-500	1/500	二次製品水路	
第3-1号支線排水路	0.0	0.000	24.7		24.7	BF-200	1/400	二次製品水路	
第3-2号支線排水路	0.0	0.000	14.1		14.1	BF-200	1/400	二次製品水路	
第4-1号支線排水路	1.3	0.235	56.0		56.0	BF-200	1/400	二次製品水路	
第5号支線排水路	1.6	0.241	80.7		80.7	BF-500	1/400	二次製品水路	
第5-1号支線排水路	0.0	0.000	21.2		21.2	BF-200	1/400	二次製品水路	
第6号支線排水路	2.4	0.260	115.6		115.6	BF-500	1/550	二次製品水路	
第6-1号支線排水路	0.0	0.000	16.8		16.8	BF-200	1/550	二次製品水路	
第7号支線排水路	0.6	0.020	91.1		91.1	BF-250	1/2500	二次製品水路	
第8号支線排水路	0.2	0.337	54.6		54.6	3AP500*800	1/700	コンクリート柵渠	
第10号支線排水路	0.6	0.013		148.8	148.8	VU-200		パイプライン	
第11号支線排水路	2.1	0.038		120.1	120.1	VU-200		パイプライン	
第12号支線排水路	4.2	0.082		147.1	147.1	VU-350		パイプライン	
第13号支線排水路	5.9	0.114		105.5	105.5	VU-350		パイプライン	
第14号支線排水路	7.9	0.154		111.4	111.4	VU-400		パイプライン	
第15号支線排水路	9.6	0.187		105.0	105.0	VU-450		パイプライン	
第16号支線排水路	9.6	0.187	98.0		98.0	BF-500	1/850	二次製品水路	
第17号支線排水路	0.0	0.093	238.2		238.2	3AP500*600	1/600	コンクリート柵渠	
第18号支線排水路	0.9	0.231	220.5		220.5	BF-450	1/350	二次製品水路	
第19号支線排水路	0.3	0.273	34.3		34.3	BF-450	1/250	二次製品水路	
第4号支線用排兼用用水路	0.0	0.125	247.9		247.9	BF-500	1/600	二次製品水路	
第5号支線用排兼用用水路	0.0	0.037	126.9		126.9	H500*B600	1/700	二次製品水路	
第20号支線排水路	1.2	0.022	134.3		134.3	BF-300	1/950	二次製品水路	
第1号宅地排水路	0.0	0.000	30.9		30.9	BF-250	1/500	二次製品水路	
承水路	0.0	0.000	57.5		57.5	BF-200	1/500	二次製品水路	
小計	50.2		2,071.9	737.9	2,809.8				

3. 排水路

(第18表-3)

水路名	項目	受益面積(ha)	排水量 (m³/s)	延 長 (m)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事 業 名	開きよ		トンネル その他	計					
	農地整備事業 (経営体育成型)									
第1号支線排水路		2.1	0.043	106.5		106.5	BF-250	1/480	二次製品水路	
第3号支線排水路		1.8	0.040	130.2		130.2	BF-250	1/500	二次製品水路	
第4号支線排水路		0.6	0.029	182.6		182.6	BF-250	1/600	二次製品水路	
第4-1号支線排水路		0.9	0.040	138.7		138.7	BF-250	1/500	二次製品水路	
第7号支線排水路		3.4	0.077	71.2		71.2	BF-300	1/360	二次製品水路	
地区外排水路		0.0	0.000	14.8		14.8	BF-200	1/550	二次製品水路	
第1号小排水路		0.0	0.000	40.7		40.7	BF-200	1/550	二次製品水路	
小計		8.8		684.7	0.0	684.7				
合計		59.0		2,756.6	737.9	3,494.5				

(1) 道路の総括表

(第19表-1)

区分	項目 路線名	幅(有効)(m) × 延長(m)	付帯構造物			最急勾配 (%)	同左の延長 (%)	最小曲線 半径 (m)	備考
			名称	構造	数量 (箇所)				
上笹工区	第1号支線道路	5.0 (4.0) × 130.5							
〃	第2号支線道路	5.0 (4.0) × 96.0							
〃	第3号支線道路	5.0 (4.0) × 141.4							
〃	第4号支線道路	5.0 (4.0) × 209.8							
〃	第5号支線道路	5.0 (4.0) × 212.5							
〃	第6号支線道路	5.0 (4.0) × 104.9							
小計		895.1							
下野工区	第1号支線道路	4.0 (3.0) × 261.0							
〃	第2号支線道路	2.5 (2.0) × 277.0							拡幅
〃	第5号支線道路	2.5 (2.0) × 174.8							拡幅
〃	第6号支線道路	4.0 (3.0) × 210.6							
〃	第8号支線道路	4.0 (3.0) × 78.2							
〃	第9号支線道路	4.0 (3.0) × 147.2							
〃	第10号支線道路	4.0 (3.0) × 139.1							
〃	第11号支線道路	2.5 (2.0) × 224.3							拡幅
〃	第12号支線道路	4.0 (3.0) × 160.0							
〃	第2号耕作道路	3.0 (2.5) × 145.0							
小計		1,817.2							
		5.0 (4.0) × 895.1							
		4.0 (3.0) × 996.1							
		2.5 (2.0) × 676.1							
		3.0 (2.5) × 145.0							
合計		2,712.3							

第4節 農用地造成 該当なし

第5節 洪水調整施設 該当なし

第6節 干拓施設 該当なし

第7節 農用地整備施設

1. 区画整理

(1) 区画整理

(第23表-1)

工 区 名	面 積(ha)	整 地 工		表土扱い		備 考
		標準区画	土 量(m³)	面積(ha)	土 量(m³)	
上笹・下野工区	5.9	1.0ha(100m×100m)	—	5.9	8,850	
〃	12.7	0.3ha(100m×30m)	—	12.7	19,050	
〃	4.1	0.3ha未満	—	4.1	6,150	
計	22.7		—	22.7	34,050	

(2) 末端用水路等

(第23表-2)

項目 区分	数 量(m)	規 模	構 造	備 考
用水路	1,612.9	UF250～UF500	鉄筋コンクリートU字フリューム	
〃	924.9	VUφ200～400	硬質塩化ビニル管	
〃	253.1	H500×B700	現場打水路	
〃	231.8	HS-H500×B600	鉄筋コンクリート二次製品水路	
〃	227.7	H1200×B1850(表面被覆工)	補修水路	
計	3,250.4			

(3) 末端排水路等

(第23表-3)

項目 区分	数 量(m)	規 模	構 造	備 考
排水路	2,336.9	BF200～BF500	鉄筋コンクリートベンチフリューム	
〃	737.9	VUφ200～450	硬質塩化ビニル管	
〃	292.8	3AP-500×600～500×800	鉄筋コンクリート柵渠	
〃	126.9	HS-H500×B600	鉄筋コンクリート二次製品水路	
	3,494.5			

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第23表-4-1)

項目 区分	面 積(ha)	集 水 渠				吸 水 渠						集水渠出口以下の 排水施設			備考
	事 業 名														
	農地整備事業 (経営体育成型)	勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	名称	構造	数量 (m/ha)	
本暗渠	10.2	1/300	VU	100	-	1/500	PE (有孔管)	65	60	10	-				
〃	5.1	LEVEL	VU	100	-	LEVEL	PE (有孔管)	65	60	10	-				
計	15.3														

(2) 心土破碎 該当なし

3. 客 土

(第23表-5)

項目 区分	面 積(ha)	客土土量 (m ³)	土取場土量 (m ³)	運搬距離 (km)	運搬方法	備 考
	事 業 名					
	農地整備事業 (経営体育成型)					
浅耕土対策	1.4	1,918	2,557		10tダンプトラック	
〃	7.6	5,548	7,397		10tダンプトラック	
計	9.0	7,466	9,954			

4. 除 礫 該当なし

5. 農地保全 該当なし

第8節 老朽ため池改修施設

該当なし

第6章 附帯工事計画

該当なし

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

着 手 令和元年7月

完 了 令和 8年3月

工 程 表

年度 工種	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
区画整理									
実施設計									
換地計画									

第8章 環境との調和への配慮

1. 基本方針

本地区は、ほ場整備工事に対し農村環境計画、田園環境整備マスタープランとの整合性を踏まえ、環境配慮場所、工法等については協議を行い決定する。

2. 本地域の環境の概要

① 農業生産環境

本地域は、豊かな田園空間や森林地域が広がり、大都市圏への生鮮食料品の供給基地として、また、自然環境の豊かな地域として重要な役割を担っているが、農林業従事者の高齢化や後継者の不足に加え、農産物の輸入自由化といった厳しい環境の中で、経営耕地面積、農家人口、林業従事者の減少が見られる。

本地域においては、これらに対応するため、優良農地の保全やため池の改修による水利の確保、農業経営基盤強化促進法の導入による経営基盤の強化、認定農業者制度の創設、農地の流動化による中核農家の育成、近郊型農業や農業近代化の促進などについて積極的に取り組むことが課題となる。

② 環境保全対策のあり方

本地区の農村地域は、豊かな緑と清流揖保川・栗栖川に恵まれ、古くから人と自然が交わる中で豊かな自然環境が形成されてきた地域である。しかしながら、近年、農林業従事者の高齢化や後継者の不足に伴い、身近な自然環境である里山や農地の荒廃が進み、農薬や化学肥料、合成洗剤の使用などによる河川水質の悪化により、そこに生息する野生生物が減少している。

自然生態系を含めた農村環境整備に対するニーズが高まりを見せているが、このような中で、従来型の農業生産基盤整備の体系とは異なり、望ましい土地利用計画、景観形成、生態系の維持・保全、地域住民の合意形成などに広く配慮した土地改良事業の実施が求められている。

3. 当該地区における環境配慮の方法

対象動物：メダカ

第9章 換地計画の概要

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

本事業を契機に、農用地の区画整理とあわせて道路網の整備、用排水路の分離、用水路のパイプライン化による農作業の省力化を図ると共に出入り耕作の解消を目指すこととしたため、全域を一換地工区とする。さらに、利用権等の調整により農地集積に努め、効率かつ安定的な農業経営を目指す。

第2節 換地区の設定

1. 換地区の名称、所在、面積

(第25表-1)

換地区名	換地区の住所	面積 (ha)
全 区	兵庫県たつの市新宮町上笹、下野	26.8

2. 換地区を設定する理由

該当なし

第3節 換地計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準

(第25表-2)

換地区名	地 積 の 基 準
全 区	1. 換地交付の基準とする従前の土地の地積は、土地改良事業確定の日の登記簿地積とする。 2. 自小作調整による従前地地積の変動は、地主小作双方合意のうえ農業委員会に受理されたもので、自小作解消の申し出のあった土地について申し出の地積により従前地地積を調整するものとする。 3. 既に関買又は寄付による道路・水路等で、所有権移転登記未了の土地は、その土地の所有者の同意を得て、従前の土地の対象としない。

2. 用途別予定地積

(単位:ha) (第25表-3)

換地区名	用途 (取得予定者) 前後	非農用地区域外に換地を定める土地											非農用地区域に換地を定める土地										機能交換に係る土地					一 般 国 公 有 地	総 合 計				
		田	畑	山林・原野	その他	通常事業施工 地域に含める 土地(令第1条 の9()書き)			計	本事業によっ て生ずる土地 改良施設用地			創設非農用地	合計	特定用途用地			異 種 目 換 地	創設非農用地						合 計	国	県			市町村 他	合 計		
						土地改良施設	その他	小計		改良区	その他	計			宅地	その他	計		農業経営合理化	施設用地	生活上・経営上	必要な施設用地	公用・公共用	施設用地等								計	
全区	従前の土地	22.6	1.2		0.1								23.9		0.1	0.1	0.5										0.6	0.3	0.0	2.0	2.3		26.8
	換地	21.4	1.3							1.0		1.0	23.7		0.1	0.1	0.5										0.6	0.3	0.0	2.2	2.5		26.8

3. 農用地集団化の方針

(第25表-4)

区分 換地区名	地帯別、グループ別 団地の設定	個人別換地の方法			
		位置の選択方法	1戸当たり 目標団地数	集団化率	区画畦畔の取り扱い
全 区	従前地の用途が畑・山林・雑種地等から造成させる畑は、事業計画に定められた区域内で集団化する。	位置の選定は次による。 ①従前地の最大団地の指す区画に選定する。 ②後順位のため、前記①による区画が既に選定済みのときは隣接区画又は後順位最大団地の指す区画に選定する。 ③最終端数面積の調整のため、この基準に沿わない選定をするときは、従前地の存するほ区内は不利益とならない位置に選定する。	1戸当たり目標団地数はおおむね1団地を目標とする。	集団化率 $\frac{234 - 156}{234 - 128} \times 100 = 73.5\%$	畦畔は固定畦畔とする。また、分割田は利用集積のため原則として畦畔は設けず、境界杭のみとする。

4. 非農用地換地の方法

(第25表-5)

区分 換地区名	番号	用途	非農用地区域の位置の概略	面積 (m ²)	換地の手法	換地取得予定者	その他
全区	1	農業用倉庫	たつの市新宮町上笹字村之 前453番1 外	640	異種目換地	従前所有者	
	2	資材置き場	たつの市新宮町上笹字村之 前428番 外	1,000	異種目換地	従前所有者	
	3-1	素麺工場	たつの市新宮町上笹字山ノ 下793番1 外	519	異種目換地	従前所有者	
	3-2	素麺工場	たつの市新宮町上笹字山ノ 下796番1 外	831	異種目換地	従前所有者	
	5-1	農業用倉庫	たつの市新宮町上笹字村之 前433番1 地先	790	異種目換地	従前所有者	
	5-2	農業用倉庫	たつの市新宮町上笹字宮ノ 元544番1 外	790	異種目換地	従前所有者	
	6	農家住宅	たつの市新宮町上笹字宮ノ 元535番1 外	420	異種目換地	従前所有者	
	7-1	花壇	たつの市新宮町上笹字村之 前398番1 外	182	特定用途用地	たつの市	
	7-2	花壇	たつの市新宮町上笹字村之 前372番1 外	126	特定用途用地	たつの市	
	7-3	花壇	たつの市新宮町上笹字山ノ 下799番4 外	103	特定用途用地	たつの市	
	7-4	花壇	たつの市新宮町上笹字山ノ 下807番1 地先	40	特定用途用地	たつの市	
	8	資材置き場	たつの市新宮町下野字下河 原423番地1 地先	368	特定用途用地	従前所有者	
		農業用倉庫		2,220	異種目換地		
		資材置き場		1,000	〃		
		素麺工場		1,350	〃		
		農家住宅		420	〃		
		小計		4,990			
		花壇		451	特定用途用地		
		資材置き場		368	〃		
		小計		819			
合計				5,809			

第4節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法

標準地からの増減点方式

2. 清算の方法

条件差差積積清算方式

第5節 換地計画樹立の年度計画

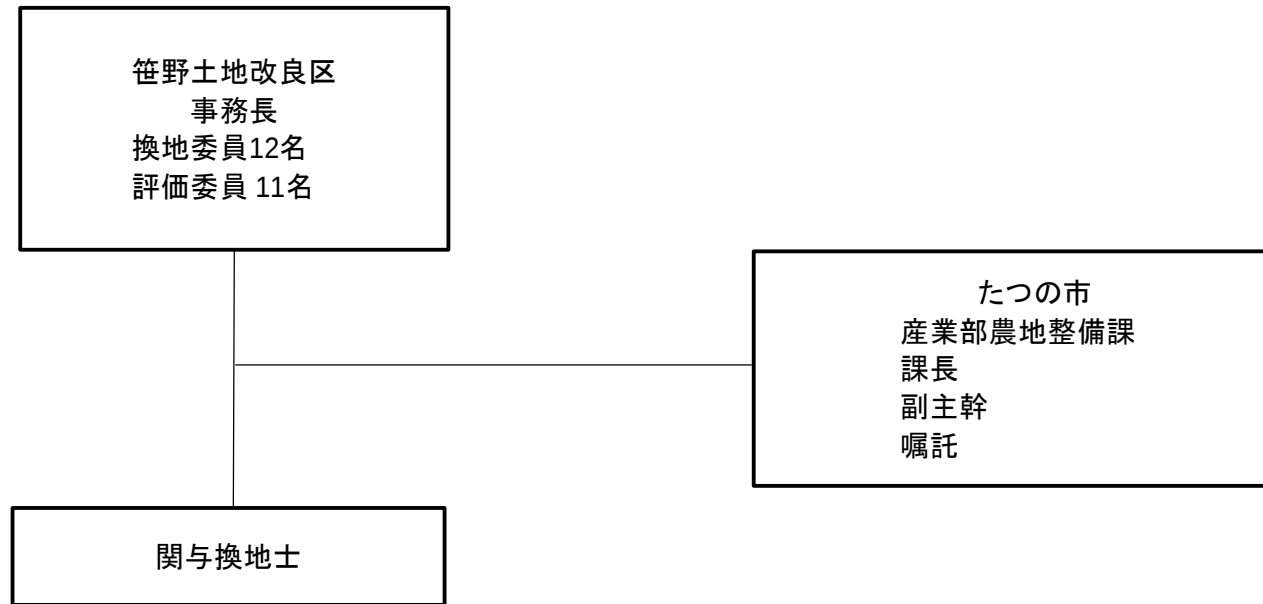
(第25表-6)

区分 換地区名	一時利用地の指定予定年度	換地計画の決定予定年度	換地処分予定年度	備考
全区	令和元年度～令和6年度	令和7年度	令和7年度	

第6節 換地処分の時期に関する特則

換地区については、換地区の全部について区画変更工事が完了し、確定測量が行われたときは、土地改良法第89条の第10項において準用する同法54条第2項ただし書きの規定より、換地処分を行うものとする。

第7節 換地事務処理体制（機構図）及び処理体制



処理方針

笹野土地改良区の元、関係組合員から代表である換地委員、評価委員を選定し、各委員の長を決める。たつの市産業部農地整備課との連携を密にして事業推進に努める。市職員2名が事務処理にあたる。

なお、換地業務に関しては、換地業者に委託を行い、土地改良換地士の関与のもとに、三位一体となった換地事務処理体制の確立に万全を期する計画である。

第10章 事業費の総額及び内訳

(単位：千円) (第26表)

区 分	事 業 費	備 考
1. 工事費	1,034,132	
1.1 区画整理	576,073	
1.1.1 整 地 工	240,957	
1.1.2 道 路 工	22,472	
1.1.3 用 水 路 工	152,674	
1.1.4 排 水 路 工	112,609	
1.1.5 暗 渠 排 水 工	15,436	
1.1.6 客土工	31,925	
1.2 用水路工	401,491	
1.3 暗渠排水工	46,796	
1.4 客土工	9,772	
2. 測量試験費	144,197	
3. 補 償 費	14,680	
4. 換 地 費	54,807	
事業費 計	1,247,816	
5. 事 務 費	62,390	
総 合 計	1,310,206	

第11章 効 用

(単位：千円) (第27表)

事業名	項目 区分	年総効果(便益)額	年増加農業所得額		現況総農業所得額	備考
				うち機能向上分		
(経営体育成型) 農地整備事業	食料の安定供給の確保に関する効果	88,560	95,668	54,614		
	作物生産効果	50,349	54,614	54,614		
	品質向上効果					
	営農経費節減効果	28,481	29,457			
	維持管理費節減効果	9,730	11,597			
	農業の持続的発展に関する効果	1,076				
	耕作防止効果	1,076				
	農村の振興に関する効果					
	地積確定効果					
	非農用地等創設効果					
	多面的機能の発揮に関する効果					
	景観・環境保全効果					総便益額(現在価値化)
	その他効果	9,171				2,503,847
	国産農産物安定供給効果	9,171				総費用総便益比
	計	98,807	95,668	54,614	122,384	1.03

総費用 2,421,666 千円

第12章 関連する事業

第13章 現況・計画図面

1. 現況平面図
2. 計画平面図及び土地利用計画図
3. 主要構造図